

佐々木昇議員

「共生社会の実現に向け」

～インクルーシブ遊具の設置 町道 109 号線舗装補修工事（上延沢）～

令和8年度予算に開成水辺スポーツ公園と松ノ木河原第1公園へのインクルーシブ遊具の設置が計上された。こちらは、私が昨年12月の質問でインクルーシブ遊具の設置を求めている施設である。開成水辺スポーツ公園においては元々、通常の遊具設置が予定されていた。

また、松ノ木河原第1公園においては今後、対応していくように努力をしていくということだったが、町の迅速な対応を評価したい。

インクルーシブ遊具は、障がいの有無、身体能力、年齢、国籍などに問わず、誰もが一緒に利用できる包括的な遊具である。町長は所信表明で「共生社会の実現に向けた一歩として、インクルーシブ遊具の導入についても実現させたい」と述べられた。今後の共生社会の実現に向けたまちづくりに期待したい。

町道 109 号線舗装補修工事については、舗装の傷みと同時に、その下部の陥没も目立つ道路である。上層の舗装の打ち替えだけでなく、陥没の原因についての対応を確認した。陥没についても調査、対応することだった。陥没はしっかりと対応をしないと何度も繰り返されるので万全な対応を求める。また、町内全域の道路整備についても安全な道路整備に努めることを求める。